

北薩感染症情報

2020年第6週(2月3日～2月9日)

【問い合わせ先】〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
 北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
 電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
 E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0		142	65	9.29	↓	-	86	38	7.60	↓	-
小児科定点	RS	-	-	-		1	2	0.50	↗	-	-	-	-	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-		4	-	-	↓	-	3	10	3.33	↗	◎
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-		22	39	9.75	↗	◎	18	16	5.33	↓	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-		36	52	13.00	↗	-	4	8	2.67	↗	-
	水痘	2.0	1.0	1.0		2	-	-	↓	-	1	2	0.67	↗	-
	手足口病	5.0	2.0	-		1	2	0.50	↗	-	1	-	-	↓	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-		2	3	0.75	↗	-	-	1	0.33	↗	-
	突発性発疹	-	-	-		-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-		-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-		2	2	2.00	→	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	-	-	-		1	2	/	↗	-	-	-	/	→	-	
報告数合計		-	-	-		213	168	/	↓	/	113	75	/	↓	/

<注意報・警報>

・川薩保健所管内 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行発生警報」3週連続継続中。

・出水保健所管内 「咽頭結膜熱流行発生警報」10週連続継続中。

<全数報告>

・川薩保健所管内 結核(患者1人), 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者1人, O26)

・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

・川薩保健所管内 なし

・出水保健所管内 なし

○ 第6週報のトピックス

新型コロナウイルスに関する国からの情報。

①新型コロナウイルス感染症について, ②【一般の方向け】, 【医療関係・検査機関向け】, 【企業向け】Q&A
 後の方に, 厚生労働省ホームページに掲載されているURLがありますので, ご参照ください。

(警報・注意報)

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

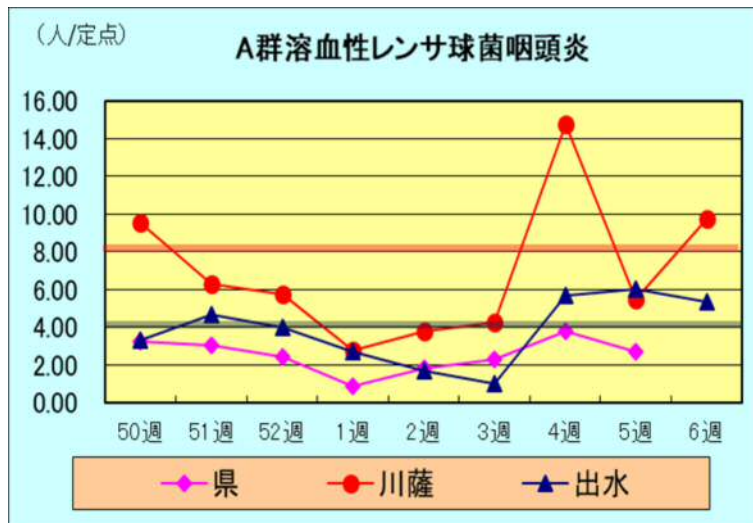
【警報開始基準値 8.0 警報終息基準値 4.0】

(第6週は川薩・出水のみ掲載)

第6週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況は、川薩保健所管内からは、**39名**(定点当たり報告数 9.75)の報告がありました。

流行発生警報を3週連続継続中。

出水保健所管内からは、16名(定点当たり報告数 5.33)の報告がありました。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎を予防しよう

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、上気道炎や化膿性皮膚感染症などの原因菌としてよく見られるグラム陽性球菌による感染症で、どの年齢層でも起こりますが、特に学童期の小児に多い病気です。

また、人と人の接触機会が多いときに起こりやすいため、家庭、学校などの集団では特に注意が必要です。



2 症状

2～5日の潜伏期間の後、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛で始まり、しばしば嘔吐を伴います。

合併症として、肺炎、髄膜炎、敗血症などの化膿性疾患、あるいはリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの非化膿性疾患を起こすこともあります。

3 感染経路

本疾患は通常、患者との接触を介して伝播し、ヒトとヒトとの接触の機会が増加する時に起こりやすいと言われています。

4 予防方法

- ・手洗いやうがいを励行する。
- ・感染者との密接な接触をさける。



5 学校保健安全法での取り扱い

明確には定められてはいませんが、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」として、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまでの期間の出席停止の措置が必要と考えられます。

○咽頭結膜熱について

【警報開始基準値 3.0 警報終息基準値 1.0】

第6週の咽頭結膜熱の発生状況は、川薩保健所管内からの報告はありません。

出水保健所管内からは10名（定点当たり報告数 3.33）の報告がありました。

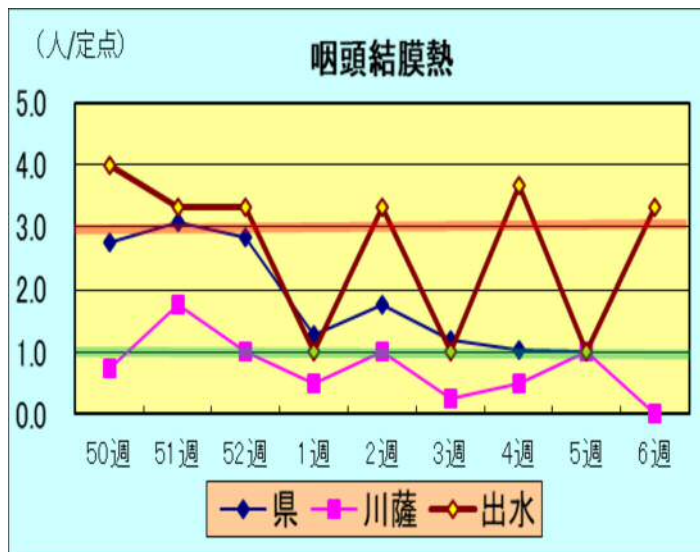
流行発生警報を10週連続継続中。

※ 特徴

咽頭結膜熱は、「アデノウイルスによって起こる疾患」で、季節的には、通常夏期に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれています。

予防としては感染者と密接な接触を避け、流行時にうがいや手指の消毒を励行することが必要です。

（第6週は川薩・出水のみ掲載）



インフルエンザの川薩保健所管内警報・出水保健所管内の注意報が解除されました。

○ インフルエンザ

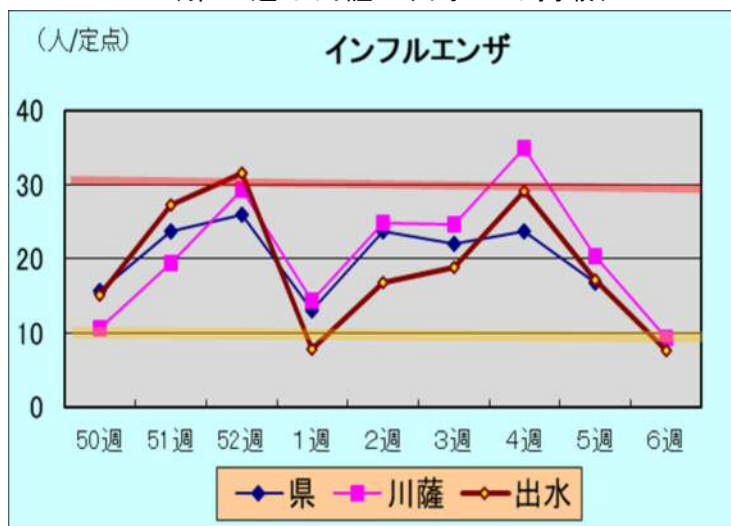
【警報開始基準値 30.0 【注意報開始基準値 10.0 警報終息基準値 10.0】

第6週のインフルエンザの発生状況は、川薩保健所管内からは、65名（定点当たり報告数 9.29）の報告がありました。

出水保健所管内からは、38名（定点当たり報告数 7.60）の報告がありました。

川薩保健所管内・出水保健所管内ともに、終息基準（10.00）以下となったため警報・注意報を解除します。

（第6週は川薩・出水のみ掲載）



※ 新型コロナウイルスの参考資料（厚生労働省ホームページ）

① 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

② 新型コロナウイルスに関する Q & A

【一般の方向け】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

【企業の方向け】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00007.html

【医療機関・検査機関向け】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00004.html